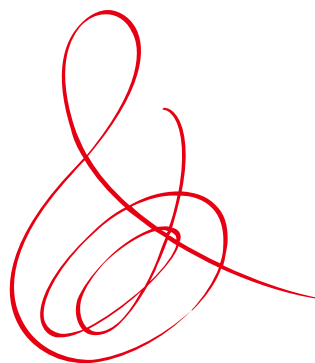


*Christel Vie Ensemble
Foundation*

ニュースレター 2023



Christel
Vie Ensemble
Foundation

一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル



一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル 代表理事 滝川クリステルからのご挨拶

2023.12

2023年も一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブルをご支援いただき誠にありがとうございます。今年もこの機会を通じて皆様に御礼を申し上げたいと思います。

日本では、2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行し、入国制限が解除されたことと円安が重なりインバウンドが増加、移動制限もほぼ無くなったこと等もあり、社会がコロナ前の状態に戻ったように感じます。一方で、世界においては、ウクライナに続きガザ情勢が世界に波及し、国家そして私たち人間の在り方が問われる事態となっています。

2023年は私たち財団にとって大きな年でした。2021年に開始したProject SOSの動物虐待に関する啓発活動の中で、財団は、虐待を目撃した際の通報の重要性についても訴えてきました。しかし、その一方で、たとえ通報によって、アニマルウェルフェアが著しく脅かされている状況が明らかになったとしても迅速な一時保護が難しかったり、虐待をした所有者のもとに虐待を受けた動物たちが返されてしまったりするなど、結局は守れないことのある現状に、やるせなさや無力感を感じてきました。そして、財団内で検討を重ね、豊かな心を育む活動として位置付けている読書犬普及啓発活動を含めた従来の啓発活動に加え、社会の軸であり土台である法律の改正に関する活動を行うことを決意しました。

2023年9月、私たちは、5年に一度の動物愛護管理法の見直しを見越して、「飼い主に傷つけられた動物を守る社会に」プロジェクトを開始、署名サイトChange.orgにて署名活動を始めました。署名活動ではポイントを①虐待された動物の「緊急一時保護」、②虐待した飼い主の「所有権喪失」、そして③虐待を受けた動物の原則「行政による保管」の3つに絞っています。

12月15日現在、3.5万人を超える皆様からご署名頂いています。署名作成にあたり、不慣れな私たちに対し、忙しい中で時間を割いてアドバイスや激励をいただいた有識者や啓発団体・保護団体の皆様、本プロジェクトにご賛同いただいた応援団体の皆様、そして署名への賛同・拡散をしていただいた皆様に、深く御礼を申し上げます。

また、「犯人が捕まりさえすれば、虐待された動物は保護されていると思っていた！」という多くの声を受け、まずは現状知っていただきたいと、私たちは2023年11月

22日に啓発動画「そこが変だよ！犬猫裁判」を財団YouTubeおよびSNSで公開しました。YouTubeでは、公開からわずか2カ月弱で、32万回の再生があったようです。

本動画では、たとえ動物虐待の罪で有罪判決を受けた飼い主であっても、所有権を放棄しない限りペットを連れて帰ってしまうという、「所有権の壁」の問題を描いています。情報に溢れる現代社会の中で忙しい毎日を過ごす多くの方々には、どんな返しともいえる結末まで見ていただくためにはどうすればよいのか、検討を重ねた作品です。この動画が多くの方の目に留まり、現状を変えたいと署名に賛同いただける方が増えていくことを願っています。1人1人の署名が社会を変える大きな力になると共に信じ、ぜひご賛同いただけますと幸いです。

犬猫の殺処分問題解決への取り組みに加え、アニマルウェルフェアの満たされない犬猫ゼロを目指すProject Zeroでは、より良い医療によって、保護犬猫のアニマルウェルフェアの向上と譲渡の促進がなされることを目的として、協力動物病院で医療行為を受けた保護犬猫の医療費を補助する「保護犬猫支援基金」が3年目を迎えました。当基金の医療費補助を受けた保護犬猫は11月末時点で1397頭になりました。支援を続けてくださっているスポンサー、そしてともに歩んでくださる協力動物病院の皆様に、心より御礼申し上げます。来年は、アニマルウェルフェアをキーワードに、Project SOSの署名活動とも連動し情報発信・啓発活動に邁進してまいります。

2022年12月、生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で2030年までの世界目標が採択されました。また、先行して発足していたTCFD（機構関連財務情報開示タスクフォース）に続き、今年9月には生物多様性を守る国際的な取り組みの1つであり、企業・団体が、自身のビジネスが生物多様性とどのように関わっているかを評価し開示することを促す、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の最終提言が発表されました。もはや生物多様性や気候変動に対する皆での取り組みなくして、サステナブルな未来はない、待たなしの状況であることは明らかです。

Project Redのボルネオプロジェクトでは、寄附付きアクセサリーを通して、R Ethicalさんと共にこれまでに650万円以上をボルネオ保全トラスト・ジャパンさんに

贈呈してまいりました。このお金は、保護された野生のボルネオゾウの仔ゾウのミルク代や、ボルネオの動物たちの生活圏を維持するための熱帯雨林の育林活動に活用されています。アクセサリーはR Ethicalさんオンラインショップ等で販売しております。（p.13参照）

ボルネオ島は観光業が大事な収入源であるため、コロナで大ダメージを受けていましたが、航空便の運行が再開するなど、客足も少しずつ戻ってきていると聞きます。しかし、コロナ禍で流出してしまった人材を呼び戻すのはなかなか大変なようです。また、インドネシアのボルネオ島（カリマンタン島）への首都移転についても、環境に配慮した新たな首都づくりを目指し2045年にかけて開発が進んでいるようですが、ボルネオの豊かな自然や多様な生態系への影響がないとは言いきれず、引き続き注視しております。日々の地道な活動が、必ずしも問題解決につながるわけではないという難しさともどかしさを感じながらも、R Ethicalさんとともに引き続きボルネオ保全トラスト・ジャパンさんの活動を応援してまいります。

同じくProject Redで応援している猛禽類医学研究所さんが、今年もクラウドファンディングにチャレンジしています。猛禽類医学研究所さんの活動には、財団設立当初より全面的に賛同しております。特に、たとえ意図せずとも人間が傷つけてしまった結果、野生に帰れなくなってしまった猛禽類（終生飼育個体）達のQOLをいかに担保するかは私たちのProject Zeroの活動とも通じるものがあります。今後、さらなる協力を考えるとともに、2016年に寄贈させていただいたドクターカーについても、大事に使ってくださってはいますが、検討しなくてはならない時期に来たと考えています。

私たち財団が目指す、暴力のない・許さない社会の実現、アニマルウェルフェアの向上・犬猫の殺処分の低減、そして野生動物保護・生物多様性保全。今後も、このワンヘルスやワンウェルフェア（人間の健康や豊かな暮らしは、動物達のウェルフェア、そして環境の健全性・持続可能性と相互に密接に関係しているという概念）にも通じる大きな目標の実現に向け、皆様と共に、様々な形でチャレンジを続けていきたいと思っています。来年も皆様の温かいご支援、ご賛同をよろしく願い申し上げます。

代表理事 滝川クリステル

One Welfare (ワンウェルフェア) ~ ひとつの福祉 ~



『ワンウェルフェア』という言葉をご存知ですか？アニマルウェルフェア（動物福祉）と人の幸福、そして環境保護などの社会問題は全て繋がっているというRebeca García Pinillos氏によって提唱された新しい概念です。クリステル財団が取り組んできた3つのプロジェクト、『共に、生きる。』という理念が『ワンウェルフェア』に当てはまることに気がつき、これまでの活動を更に後押しされた様にも感じました。地球上における全ての命が共生し、持続可能な存在であり続けるには、犬や猫のアニマルウェルフェアや絶滅危惧種だけに注目するのではなく、より広い視座を持ち、常に考え続けなくてはならないと私たちは考えています。

Project Zero (プロジェクト・ゼロ)

日本における犬・猫の殺処分数は、財団設立時から大幅に減少していますが、まだ、ゼロからは程遠い数となっています。また、殺処分ゼロという言葉だけが独り歩きし、犬猫のアニマルウェルフェアが十分に考慮されない事態も生じています。私たちは、犬猫の殺処分を1頭でも減らすための取り組みだけでなく、彼らが幸せに生きられるようアニマルウェルフェアが満たされない犬猫ゼロを目指します。

※ 詳細はP10,11をお読みください。

Project Red (プロジェクト・レッド)

今、生態系のバランスは崩れ、野生生物の絶滅スピードは今までにないほど加速しています。その中でも生態系の頂点にいる生きものは、豊かな環境を必要とするため、生態系という視点からは、実は、最も弱い立場に置かれています。私たちは、それぞれの地において生態系の頂点にいる絶滅の危機に瀕した野生動物を救い、生態系を守ることをミッションに活動している団体を応援しています。

- ・ 猛禽類医学研究所への支援
- ・ ボルネオプロジェクト（ジュエリーブランドR Ethicalと、認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンを支援）

Project SOS (プロジェクト・SOS)

助けを求めるSOSの声に耳を傾け、虐待や暴力を見逃さない・見て見ぬふりをしない。私たちは虐待のない世界を目指して活動しています。第一弾として、動物虐待をテーマにAnimalSOSプロジェクトを開始し、以下の活動を行っています。

- ・ どくしょ犬って知ってる？
- ・ #飼い主に傷つけられた動物を守る社会にプロジェクト
- ・ アニメーション「あなたには、みえますか？」／絵本「きみには、きこえる？-コロのきもち-」の制作
- ・ 虐待に対応できる専門家支援 等

クリステル財団はProject Zero、Project Red、Project SOS 3つのプロジェクトを通して、私たち人間の健康や豊かな生活とアニマルウェルフェア、環境の健全性や持続可能性は繋がっており、相互に依存しているという概念『ワンウェルフェア』を広めることにも取り組んで参ります。

2023年1月～6月 活動報告

- 1月** 17日（火） 【情報発信】 ペット防災について
22日（日） **【フォスターアカデミー】 『保護が必要な猫を放置しないために』 対面セミナーを開催**
27日（金） **日本獣医生命科学大学 田中亚紀先生への動物虐待についての取材レポートを公開**
- 2月** 9日（木） **ホームページリニューアル**
16日（木） 【情報発信】 猛禽類鉛中毒について①（なぜ、猛禽類は鉛中毒になるの？）
21日（火） 【情報発信】 猛禽類鉛中毒について②（鉛中毒から猛禽類を守るために～規制について～）
28日（火） 雑誌『いぬのきもち』の3月号に「どくしよ犬って知ってる？」記者発表イベントが掲載
- 3月** 8日（水） 【情報発信】 犬猫等の“ペットによる思わぬ火災について”
10日（金） 【情報発信】 環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」について
14日（火） **「どくしよ犬って知ってる？」プロジェクト ページ開設**
30日（木） **WELCOME PET CAMPAIGN第6版が完成、配布を開始**
- 4月** 7日（金） 雑誌『大人百花』Spring issueに代表理事 滝川クリステルのインタビューが掲載
11日（火） **アニメーション『犬となかよくなれるごあいさつ』を公開**
16日（日） **代官山 蔦屋書店にて、『どくしよ犬って知ってる？』を開催**
26日（水） 【情報発信】 猫の繁殖力の強さについて
- 5月** 9日（火） **【新ボルネオ通信】スタート 第1回：ボルネオ島について**
19日（金） **【新ボルネオ通信】 第2回：ボルネオ島の豊かな自然を脅かす問題について**
24日（水） 【情報発信】 狂犬病予防注射について
- 6月** 6日（火） **【新ボルネオ通信】 第3回：アブラヤシ農園の開発/パーム油**
<前編：-パーム油とは->
15日（木） 【情報発信】 そもそも動物虐待ってなに？
17日（土） **【フォスターアカデミー】 『ミルクボランティアの活動を知ろう』対面セミナーを開催**
18日（日） **代官山 蔦屋書店にて、『どくしよ犬って知ってる？』を開催**
20日（火） 【情報発信】 熱中症対策～犬編～
27日（火） **【新ボルネオ通信】 第4回：アブラヤシ農園の開発/パーム油**
<中編：-私たちの生活にあるパーム油->
30日（金） 【情報発信】 熱中症対策～猫編～

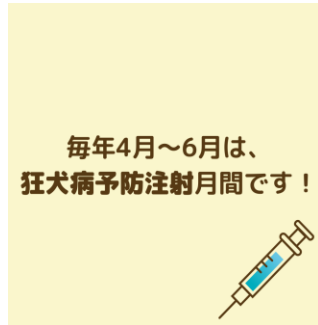
2023年7月～12月 活動報告

- 7月 19日 (水) 【新ボルネオ通信】 第5回：アブラヤシ農園の開発/パーム油
＜後編：-パーム油生産の問題と持続可能な生産・利用について-＞
- 26日 (水) 【情報発信】犬は・・・人間の4倍の聴覚があることを知っていますか？
- 31日 (月) **YouTube「保護犬猫により良い医療を」がスタート！ 第1回「らむ動物病院」を公開**
- 8月 5日 (土) 【フォスターアカデミー】三越伊勢丹グループ労働組合様主催
「希少猛禽類を救え！ - 絶滅の危機に瀕した猛禽類と共生するために-」を開催
- 23日 (水) 【新ボルネオ通信】 第6回：ボルネオ保全トラスト・ジャパンについて
- 25日 (金) 「茨城県動物指導センター」の取材レポートを公開
- 30日 (水) **X (旧Twitter) 新アカウント開設**
- 9月 5日 (火) 【情報発信】炎天下のアスファルトの温度ご存知ですか？
- 5日 (火) **YouTube「保護犬猫により良い医療を」第2回「まりもこスペイルーム」を公開**
- 13日 (水) ニールズヤードレメディース「Animal Welfare, No Cruelty
-動物と共に心地よく暮らす世界へ-」キャンペーン開始
- 20日 (水) **「#飼い主に傷つけられた動物を守る社会に」プロジェクトを始動
動物愛護管理法改正を訴える署名活動をchange.orgにて開始**
- 25日 (月) 「#飼い主に傷つけられた動物を守る社会に」滝川クリステルのメッセージを公開
- 26日 (火) 【情報発信】真夏の炎天下・・・犬が車内に閉じ込められていても、
現状では速やかに保護できないことご存知ですか？
- 27日 (水) 【情報発信】動物虐待罪で有罪になった飼い主の元へ
虐待を受けた動物たちが返されている現実ご存知ですか？
- 28日 (木) 【情報発信】レスキューされた動物たちの受け皿が十分でないことご存知ですか？
- 10月 6日 (金) **Cotty Mittyにて、対象商品の売上の一部寄附が開始&プレゼント企画開始**
- 20日 (金) 坂上どうぶつ王国に代表理事 滝川クリステルが出演
- 30日 (月) **ボルネオ保全トラスト・ジャパンへ寄附金 (691,460円) を贈呈**
- 11月 20日 (月) **署名活動について 有識者 (弁護士 浅野明子先生、細川敦史先生 /
獣医師 宗像俊太郎先生、吉田尚子先生) のコメントを紹介**
- 22日 (水) **啓発動画「そこが変だよ！ 犬猫裁判」を公開 / 署名活動 特設サイト公開**
- 12月 1日 (金) **YouTube「保護犬猫により良い医療を」第3回「なないろ動物病院」を公開**

2023年 活動報告の詳細

SNSやHPでの情報発信、強化しています

今年も“熱中症対策”や“狂犬病予防注射”といった季節にちなんだ注意喚起や、他にも“猫の繁殖力”や“猛禽類の鉛中毒”についてなど、情報発信を行いました。これからも、啓発団体として皆様と一緒に考えられる様々な情報を発信し続けていきたいと思っております。



フォスターアカデミーセミナーを開催しました

保護が必要な猫を放置しないためのセミナーや子猫のミルクボランティアセミナーを対面形式で行いました。また、三越伊勢丹グループ労働組合様主催でのフォスターアカデミーも開催し、北海道にある猛禽類医学研究所の齊藤先生に『希少猛禽類を救え！ー絶滅の危機に瀕した猛禽類と共生するためにー』をテーマにお話いただきました。



活動レポートを公開しました

日本動物福祉協会主催の「シェルター・メディスン・セミナー」への参加レポート、日本獣医生命科学大学の田中先生への取材レポートなどを公開しました。また、2023年6月には、実際に茨城県動物指導センターへ行き、センターの事業内容や処分状況、収容数を減らすために努力されている点等について活動レポートという形で公開いたしました。今後も情報発信していきますので、楽しみに！



HPリニューアル/X新アカウント開設しました

財団HPのリニューアルを行いました。今後も内容の充実したホームページを目指してまいります！また、今年5月頃より、X（旧：Twitter）の旧アカウントへのログインを正常に行えない不具合が発生しており、新たにアカウントを開設いたしました。旧アカウントをフォローいただいている皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。是非新アカウントもフォローいただけますと幸いです。



X 新アカウントを
フォローください！



「犬となかよくなれるごあいさつ」を制作しました

散歩している犬をみかけた時、ついついかわいさのあまり、急に頭を触ってしまった経験はありませんか？ この動画では、実はなかなかきちんと学ぶ機会のない「犬のそばで守って欲しい3つのお約束」や「犬への正しい挨拶の仕方」について紹介しています。ぜひご覧ください！



動画はこちらから
ご覧ください！



どくしょ犬って知ってる？を開催しました

2023年4月・6月に、代官山 蔦屋書店にて、公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)様と共に、「どくしょ犬って知ってる？」を開催し、7名の子供たちが参加してくれました。イベントの前半は犬との正しい接し方教室、後半は読書犬への本の読み聞かせ、そして最後には読書犬との触れ合いを行いました。



2023年 活動報告の詳細

新ボルネオ通信を開始しました

2023年5月より、新たな試みとして、ボルネオ保全トラスト・ジャパンさんと一緒に「新ボルネオ通信」をシリーズで発信を開始しました。このシリーズでは、ボルネオのこと、ボルネオの問題、問題に対するボルネオ保全トラスト・ジャパンさんの活動、そして当財団が行っている支援などを幅広く発信しています。



YouTube「保護犬猫により良い医療を」を開始しました

YouTubeチャンネル「Christel Vie Ensemble Foundation」にて、保護犬猫支援基金を支えてくださっている協力動物病院を紹介するシリーズ「保護犬猫により良い医療を」がスタートしました！らむ動物病院、まりもコスパイルーム、JAMCシエルタークリニック、なないる動物病院の4病院にご出演いただきました。今後も配信していきますので、楽しみに！



飼い主に傷つけられた動物を守る社会にするため Change.orgにて署名活動を開始しました

再来年は、“動物愛護管理法”見直しの年です。私たちは、動物愛護管理法を本当の意味で「飼い主に傷つけられた動物を守る法律」にするため、署名サイトChange.orgにて、虐待された動物の「緊急一時保護」と虐待した飼い主の「所有権喪失」を求める署名を開始しています。詳細は、p. 8-9をご覧ください。



署名サイトは
こちらから
ご覧ください！



ボルネオ保全トラスト・ジャパンへ 寄附金を贈呈しました

R Ethical様とのコラボレーションで制作・販売しているアクセサリーの制作経費を除いた売上のすべてを、認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン様に寄附しました。寄附金691,460円は、現地で保護された子ゾウたちのミルク代として使用、また、熱帯雨林再生のための育林・植林活動にも充てられています。



「そこが変だよ！犬猫裁判」を公開しました

「ペットたちに感謝する日」である2023年11月22日に啓発動画「そこが変だよ！犬猫裁判」を公開いたしました。本動画では、たとえ動物虐待の罪で有罪判決を受けた飼い主であっても、ペットを連れて帰ってしまうという問題を描いています。代表理事 滝川クリステルがナレーションを務めています。是非ご覧ください！



動画はこちらから
ご覧ください！



ドクターカーの活動報告

ドクターカーの2023年の出動回数は、25回でした。既に死亡しているケースも少なくない状況の中、懸命な治療のもと、16羽の命が繋がりました。その他にも、ドクターカーは出張授業や調査研究のためにも活用いただいております。



年度	出動回数	救命羽数
2023	25	16
2022	32	16
2021	30	12
2020	16	7
2019	20	13

※ドクターカーとは、手術環境が整った車のことで、当財団が三越伊勢丹HD様とのチャリティーで集まった寄附金を合わせて猛禽類医学研究所に2016年6月に寄贈しました。

動物愛護管理法改正に向けて #飼い主に傷つけられた動物を守る社会に 動物愛護週間（9月20日～）始動しました！

私たちは動物愛護管理法が本当の意味で「動物を守るための法律」へと改正され、動物が守られる社会を目指し、次期動物愛護管理法の改正に向けて「#飼い主に傷つけられた動物を守る社会に」プロジェクトを始動いたしました。

今の日本の法律では虐待から動物を守れません

虐待されていても すぐには保護できません

今の法律では、飼い主の持つ**所有権**という権利のもと、虐待された動物を**すぐに保護することはできません**。警察が裁判所の令状に基づいて虐待された動物を差し押さえるしかありません。

虐待と認定されても 飼い主から引き離せません

虐待の証拠として一時的に保護された動物は、飼い主が虐待で有罪判決を受けても、虐待を繰り返す恐れがあったとしても、飼い主が**所有権を放棄しない限り、飼い主の元に帰されます**。

虐待された動物に 居場所を提供できません

虐待の証拠として保護された動物でも行政（保健所や動物愛護センター等）は**動物を保管する義務はありません**。行政が引き取りを拒否した場合、民間団体等が面倒を見るしかありません。

私たちが署名を集め法改正を訴えかけます

緊急一時保護

虐待を受けた、疑いのある動物の福祉を守るため、**適切なタイミングで一時保護ができる**ように法改正を求めます。併せて適切な判断を行うため、有識者グループ作りと虐待に対応できる獣医師・職員の育成を求めます。

所有権の喪失

立ち入り検査等の十分で適切な調査で確認した状況に基づいて、改善の余地がなく動物の飼育に適さないと判断された場合、**飼い主から所有権を喪失させられる**ように法改正を求めます。

行政による被虐待動物の保管

虐待された**動物の保管を、行政（動物愛護センター等）の役割として業務に加える**よう、収容可能頭数を超えるなどキャパシティオーバーとなる恐れがある場合は民間団体等への委託を可能にするよう、法改正を求めます。

特設サイトはこちら

署名にて訴えている3つのポイントについて、「現状何が問題なのか」、3つのポイントが法律に反映されたら「この問題がどう変わるのか」について解説しています。動画もご覧いただけます。現状を変えたいと思った方は、署名にご賛同ください。

署名活動 特設サイトを 公開しました！



特設サイトは こちらから



【応援団体】

- ・公益社団法人アニマル・ドネーション
- ・特定非営利活動法人CANBE
- ・動物との共生を考える連絡会
- ・特定非営利活動法人どうぶつ弁護団
- ・一般社団法人ハナコプロジェクト
- ・認定特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン

※ 2023年11月末現在・50音順

11月22日（ペットたちに感謝する日）に啓発動画
『そこが変だよ！犬猫裁判』を公開しました！



本動画は、イヌさんが「被害者」として証言台に立つシーンから始まります。

検察官の犬は、原告のイヌさんが飼い主から受けた“飼育放棄”や“暴力行為”、さらに他の動物たちを虐待したという事実を起訴状で読み上げます。原告のイヌさんが語る生活の様子や容姿からも飼育放棄や暴力行為が確認できます。この許し難い虐待行為に対する判決は「有罪」。裁判官から飼い主へ判決が下され、裁判は閉廷します。

しかし、イヌさんの首輪にはリードが繋がれ、有罪判決を受けた飼い主に家に連れ帰られてしまいます。

動画は
こちらから



動画のナレーションも務めた 代表理事 滝川クリステルからのメッセージ



2019年成立の改正動物愛護管理法では虐待が厳罰化され、獣医師による虐待の通報義務化など“通報”にも焦点が当たりました。しかし、勇気を振り絞って行う通報が、報われないこともあるのが今の日本です。結局は守れない。動物を守る社会の実現には、多くの方の理解と賛同が必要です。そのため、問題意識を多くの方と共有できるよう、冷静さ・客観性を持った発信に留意し、9月に開始した署名の軸である「所有権の壁」を題材に動画を作りました。一人一人の署名が社会を変える力になると共に信じ、活動にご賛同いただけますと幸いです。

Panel for Life

～ 命のパネル ～



パネルの設置にご協力ください！

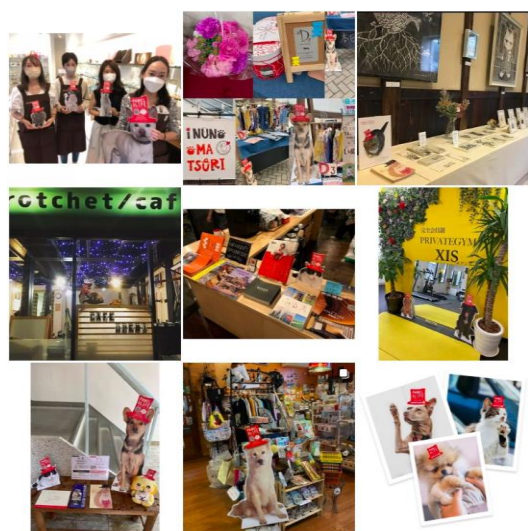
等身大の保護犬猫パネルを様々な場所に設置することで、より多くの方々に保護犬・保護猫の存在を周知し、新しい家族に迎え入れていただく機会を提案しています。犬猫パネルにはQRコードがついており、スマートフォンで読み取ると、専用HPにリンクし、保護犬猫の情報が閲覧できる仕組みとなっています。



実績

北は北海道から南は沖縄まで、**188ヶ所**で、**1,257枚**のパネルを設置いただきました！

Panel for Lifeインスタグラム
(@panelforlife) で紹介しています。



Panel for Life の活動の応援方法

寄附して応援

一口15,000円から承っております。

15,000円ご支援いただくと、特典として以下①②③のうちいずれかをお選びいただけます。

- ① 等身大の犬猫パネル 1体（計20種類よりお選びいただけます）
- ② 帽子パネルのみ 9枚（大中小3枚ずつ）
- ③ Panel for Lifeのステッカー 50枚

犬猫のパネルを購入して応援

原則、応援くださる皆様にパネルの制作費をご負担いただく形で、新品のパネルをお渡ししております。パネルの制作費は1体5,000円～7,000円程度となります。また、別途送料を頂戴しております。

WELCOME PET CAMPAIGN

～ One Welfare 人も一緒に幸せになろう ～

冊子の配布にご協力ください！



「保護犬・保護猫」を引き取って暮らす家族を増やすために、2015年5月から啓発冊子を配布しています。まずは、新しい家族を待っている「保護犬・保護猫」の存在を多くの人に知ってもらうこと、そして犬や猫を家族に迎え入れる際には「保護犬・保護猫」という選択肢が当たり前になる社会を目指しています。

第1版は2015年8月から、第2版は2017年5月から、第3版は2019年8月から、第4版は2020年12月から、第5版は2022年3月から、第6版は2023年3月から、それぞれ約10万部を、全国の動物病院や各種施設、店舗様にご協力いただき配布しております。

現在もニュースレターに同封した第6版の配布にご協力いただける方を募集しておりますので、店舗や各種施設、イベントなどで冊子の配布にご協力くださる方は事務局までご一報ください。（冊子代、送料などのご負担は一切ございません）



WELCOME
PET CAMPAIGN
Christel Vie Ensemble Foundation

協力：公益社団法人日本動物病院協会



パネルの設置、冊子の配布にご協力いただける方はメールにてご連絡ください。
info@christelfoundation.org

保護犬猫支援基金 ～ 保護犬・保護猫により良い医療を ～

2021年7月、協力動物病院で医療行為を受けた**保護犬・保護猫の医療費から1頭につき5,000円の補助**を行うために「保護犬猫支援基金」を2021年7月に設立しました。

- ① 保護犬・保護猫の保護に尽力される方々の費用負担を軽減したい
 - ② 保護犬・保護猫に必要な医療を提供することで、アニマルウェルフェアの向上や譲渡促進につなげたい
- との思いで運営を行っています。

実績

2023年11月末までに、**698.5万円（1,397頭分）**を支援することができました。

保護犬猫支援基金は、趣旨にご賛同頂いた**スポンサー様、協力動物病院様、そして飼い主のいない犬猫の保護に力**くださっている**ボランティアの皆様**の存在があって初めて成り立つ仕組みです。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

スポンサー

ユニ・チャーム ペット様
(ユニ・チャーム株式会社様)

株式会社ニールズヤードレメディース様

PINKY&DIANNE様
(株式会社TSIホールディングス様)

協力動物病院

あさか台動物病院 (埼玉県朝霞市)
いちかわ動物病院 (千葉県松戸市)
家庭動物診療施設 獣徳会 (愛知県愛知郡)
さくら動物病院 (長野県小諸市)
JAMCシェルタークリニック (東京都渋谷区)
大師前どうぶつ病院 (東京都足立区)
なないろ動物病院 (東京都文京区)
箱崎動物病院 (東京都渋谷区)
らむ動物病院 (埼玉県蓮田市)

※ 2023年11月末現在・50音順

YouTube で配信中！



協力動物病院の獣医師、関係者へのインタビューをクリステル財団YouTubeチャンネルにて公開しています！



フォスターアカデミー

～ 動物ボランティアはじめませんか ～

犬猫の殺処分をなくすための保護活動において、絶対的に不足しているのがフォスターです。**フォスターとは保護された犬や猫などの動物をを自宅で一時的に預かるボランティアのことを指します。**保護犬・保護猫が新しい家族に出会うまでの間、心身のケアを行いながら一緒に過ごす大切な役割を担います。またフォスターのサポートや自身の得意分野を活かして保護犬・保護猫のために活動する動物ボランティアも必要とされています。**ご自身のライフスタイルに合った動物ボランティアをはじめませんか？**
詳細や受講受付中の講座については、「**フォスターアカデミー** (<https://www.fosternet.org/>) 」と検索ください！



開催実績

三越伊勢丹グループ労働組合様 特別講座

『希少猛禽類を救え！』

2023年8月5日(土) 当財団のアドバイザーとして日頃から様々な助言をいただいている猛禽類医学研究所の齊藤 慶輔先生を講師にお迎えし、三越伊勢丹グループ労働組合の皆様を対象にしたセミナーを開催。当日は、齊藤先生は釧路からオンラインで、参加者の皆様はハイブリッドで約30名の方にご参加いただきました。



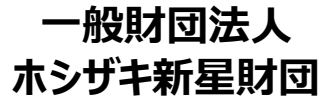
当財団のスポンサー（敬称略）

当財団の理念、活動にご賛同いただき、寄附によるご支援をいただいております。当財団の運営、活動の大きな支えとなっております。



豊島株式会社

オーガニックコットンブランド“オーガビッツ”やサステナブル素材の採用に賛同するアパレルブランドとのコラボレーションを通じて、当財団への支援を広げていただいております。



一般財団法人 ホシザキ新星財団

奨学金のご支援および奉仕活動を主とした財団法人で、2019年度より、Project Zeroの活動に多大なるご支援をいただいております。

WELCOME PET CAMPAIGNプロジェクトスポンサー（敬称略）

当財団唯一の紙媒体であるWELCOME PET CAMPAIGNのスポンサーとして、年間10万部発行の啓発冊子の作成・配布を支えていただいております。2024年には、第7版の配布を開始する予定です。



共立製薬

共立製薬株式会社

2015年発行の第1版よりWelcome Pet Campaignに継続してご支援いただいております。就職説明会ではPanel for Lifeのパネルも設置していただくなどご支援をいただいております。



ディアペット

（株式会社インラビングメモリー）

ペットのメモリアル専門の企業様で、WELCOME PET CAMPAIGNに継続してご支援いただいております。またお店にPanel for Lifeパネルや絵本「きみには、きこえる？ーゴロのきもちー」もおいてくださっています。



もっと一緒に、ずっと一緒に。

ユニ・チャームペット

（ユニ・チャーム株式会社）

人とペットがお互いに支えあえる社会の実現を目指している企業様です。WELCOME PET CAMPAIGNだけでなく、保護犬猫支援基金、フォスターアカデミーそしてイベント等でのPanel for Lifeパネル設置など、様々なご支援をいただいております。

様々な形でご支援頂いている法人様（敬称略）

収益の一部のご寄附、イラストやデザインを通じたご支援、寄附付き商品の販売、SNSの啓発キャンペーン、自社の商品や媒体を通じた啓発など今年も様々な形でご支援いただきました。クリステル財団は、これからも形にとらわれず、新しいチャレンジを企業・クリエイターの皆様と続けていきます。



NEAL'S YARD REMEDIES

株式会社ニールズヤードレメディーズ

従来、様々なキャンペーン活動を行っていらしゃいます。その中で、「動物たちが心地よく暮らす世界」を目指し、動物愛護週間中のキャンペーンを通じて、2019年より、継続的に寄附をいただいております。



株式会社ミツウロコグループホールディングス

「環境への配慮」や「負担軽減」の考え方に沿ったCSR活動のひとつとして、2017年から、継続してミツウロコグループで運営するショップ、カフェテリアおよびレストランにおいて募金活動を行っていただいております。また、株主優待において優待品の代わりに当財団に寄附を行える制度を設けてくださいました。



株式会社花やの六さん

「命」の象徴である「赤」い花でまとめたpetit roseという名のフラワーアレンジメントを季節ごとに制作・販売していただいております。そして販売を通じて、当財団にご寄附いただいております。



ブラックロック・ジャパン株式会社

世界最大の資産運用会社であるブラックロックの現地法人であるブラックロック・ジャパン株式会社様には、読者犬啓発普及活動等に助成していただきました。また、社内で当財団の紹介セッションの機会をいただきました。



アドビ株式会社

書類のやりとりで欠かせないPDFや、クリエイティブを支えるIllustrator、Photoshopを提供しているアドビ株式会社様には、動物虐待問題を含めた犬猫のアニマルウェルフェア向上に関する啓発活動（署名活動含む）に助成頂きました。また、社内で当財団の紹介セッションの機会を頂きました。



ピーロート・ジャパン株式会社

世界中から厳選したワインを輸入し、多様化するライフスタイルに合わせたユニークな販売スタイルを持つピーロート・ジャパン株式会社様には、アニマルウェルフェアや、命の尊さを知り豊かな心を育むための啓発活動に賛同いただき、ご支援をいただきました。

三越伊勢丹グループ労働組合

従来、様々な社会貢献活動が行われている三越伊勢丹グループ労働組合様ですが、当財団の活動理念に共感いただき、2018年よりご支援いただいております。当財団の活動に役立つ支援品の寄贈、フォスターアカデミーセミナーの定期開催、そして当財団イベントへのボランティアとしての参加等、様々な形で多大なご支援・ご協力をいただいております。



株式会社タニタ

愛犬とお散歩しながら、自身の健康づくりをサポートする、ワンちゃんのイラストが描かれた活動量計「ワンコとお散歩活動量計」を販売されました。8000歩散歩することに5円が当財団に寄附されます。



株式会社ワゴンノワ

株式会社エヴォワークス

2021年8月より、ECサイト「ワンコnowa」にて販売されているグッズの売上の一部をご寄附いただいております。「ワンコnowa」は、保護犬になる前・保護犬にさせないためにできることはないかの想いで立ち上げられた犬の情報サイトです。ぜひご覧ください！
Instagram @wanko_nowa

株式会社ジョア

ユニフォームの企画・製造・販売を通して、SDGsの達成に向け積極的に取り組まれています。その中で、当財団と共同プロジェクト「アンサンブルプロジェクト」を行っています。「アンサンブルプロジェクト」のラベルがついた、環境に配慮した素材を使用したenjoie様製品 1着の購入につき、100円を当財団にご寄附いただいております。



本欄お助け隊 株式会社ピギ

古本チャリティ募金の支援先団体に選んでいただいております。書籍、CDやDVDを「本欄お助け隊」にお売りいただき、支援先団体として当団体をお選びいただくと、査定額に10%上乗せされた金額が、当財団に寄附されます。



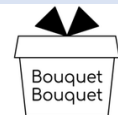
C'EST DU NANAN TOKYO

一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金

2022年より、オンラインショップで販売している御米菓子の売上の一部を寄附いただいております。ただ美味しいだけでなく、食材は、環境負荷の少ない方法かつ「フェアトレード」「アニマルウェルフェア」を重視して生産されたもの、かつ、可能な限り生産者から直接仕入る等、素敵なこだわりが詰まったお菓子です。
Instagram @nanan_tokyo

株式会社ギフトライフ

引き出物の新しいカタチとして「ウェブカタログギフト」を展開されています。カタログギフトのラインナップに、当財団への寄附を含めていただいております。ギフトライフ様のは通常の冊子タイプではなく、カードタイプなので、お式の後もかさばらずともエコでスマートです。



BOUQUET BOUQUET

BOUQUET BOUQUET様には、動物たちへの思いを込めた、プリザーブドフラワーのBOX型のフラワーアレンジメントを制作いただいております。このコラボ商品の売上の一部を当財団にご寄附いただいております。



一般財団法人兵頭哲夫アニマル基金

獣医師の兵藤哲夫先生が設立された一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金様は、「動物愛」を集めてやさしい社会をつくる、をキャッチフレーズに動物愛護福祉活動を行う個人や団体を様々な角度からご支援されています。当財団にも継続してご支援をいただいております。



株式会社産業経済新聞社

ECサイト 産経IDにおいて、寄附付きアクセサリーの販売をしてくださっています。また、2022年6月より、同じく産経IDにおいて、当財団の啓発絵本「きみには、きこえる？」の販売も開始しております。「産経ID クリスタル」で検索し、お買い求めください！



株式会社daicon

株式会社daicon

中山ダイスケ氏が代表を務めるアイデアとデザインのスタジオ。全ての財団ロゴ、フォスターアカデミー、WELCOME PET CAMPAIGN、アニマルウェルフェア サミット、Panel for Lifeなどのデザイン、およびアートディレクションをいただいております。



ヤフー株式会社

2021年6月始動のAnimal SOSプロジェクトでは、Yahoo! JAPANで「動物虐待+市町村名」と検索すると自治体の通報先が表示される仕組みを構築したヤフー株式会社様にプロジェクトパートナーとして参画していただいております。



R Jewels Japan株式会社

日本で初めてフェアマインド認証ゴールドラベルの使用許可を取得した、ジュエリーブランド。持続可能な素材を用いたアクセサリーを制作されています。当財団とのコラボレーション商品も18KYGやSVを使い、手作業で制作されています。



株式会社ボーダレス・ジャパン

ハチドリ電力様は、地球環境に配慮し、CO2ゼロの100%自然電力です。電気代の1%は自然エネルギー発電所を増やすために使われ、電気代の1%が任意の社会活動に寄附されます。ご自宅、オフィスなどの電気をハチドリ電力に切り替えていただき、ぜひ当財団を寄附先にお選びください。



株式会社FANTASTIC MAN TOKYO

伝統的な技法を用いつつ、どのようなスタイルにも合わせることができ、身につけた人の個性を引き出す洗練されたものづくりを追求しているジュエリーブランド。当財団とのコラボレーション商品もハンドメイドで制作されています。

寄附付き商品を買って当財団の活動を支援する

ボルネオに住む動物たちを救う為に

ボルネオ島では、パーム油を生産する為のプランテーション開発により熱帯雨林が伐採され、野生動物たちが住処を失っています。日本はそのパーム油を多く消費していますので、これは決して遠い海外の問題ではありません。ボルネオ島に住む野生動物に恩返しをする為に、制作したアクセサリーの売上の全額（経費を除く）を認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンに寄附しています。



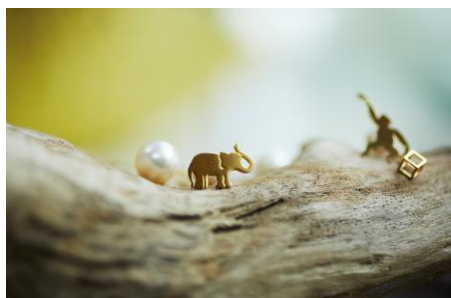
左) これまで寄附金は親を失った仔ゾウが生きていく為のミルク代3.5tに使用されました。
上) 新商品のプレスレットは、熱帯雨林再生のための育林・植林活動に充てられます。

【寄附実績】

累計	6,584,123円
2016年	771,272円
2017年	979,664円
2018年	1,369,000円
2019年	1,022,195円
2020年	1,416,852円
2021年	333,680円
2022・23年	691,460円



オランウータンやボルネオゾウをモチーフにしたK18YGのネックレス。アコヤパール使用のもの。(税込 47,520円～)
※2024年1月末から：税込 51,480円～



K18YGと淡水パールを使用したピアス。オランウータンのもつ籠がゆらゆらと揺れます。(税込 63,360円～)
※2024年1月末から：税込 68,640円～

ご購入方法

当財団HPの「Charity goods|チャリティーグッズ」にアクセスいただくか、R Jewels Japan株式会社様の公式オンラインショップ (<https://shop.r-jewels.com/>)、もしくは渋谷ヒカリエ1Fにあるお店「Theatreux」にて当財団とのコラボレーションチャリティージュエリーをお選びください。

コラボ商品を通じて当財団の活動をサポート



9月の動物愛護週間キャンペーンと、表参道本店で開催されたドッグフェスティバルの売上の一部を当財団へ寄附いただきました。2020・21・22・23年と、当財団の保護犬猫支援基金にご寄附いただいています！

販売場所：ニールズヤードレメディース各店舗、オンラインショップ



結婚式の引き出物などでよく目にする株式会社ギフトライフ様が提供するカタログギフトで、当財団へのご寄附をお選びいただけます。カードタイプなので、式のあとでもかさばらずスマートです。

提携先：ホテルオークラ東京、シャングリ・ラ ホテル東京など



書籍、CDやDVD等を等をお売りいただくと、そのお品物の査定額に10%分を上乗せした金額（本棚お助け隊の協力お礼金）が、当財団に寄附されます。年末の大掃除のタイミングにぜひ！

受付サイト：「本棚お助け隊 古本チャリティ募金」で検索！



ワンちゃんのイラストが描かれた活動量計「ワンコとお散歩活動量計」。1日8,000歩あたり5円（会員登録から40日間）が当財団に寄附されます。

販売場所：タニタオンラインショップ



飼い主とペットがお揃いでつけることのできるジュエリー。売上の一部が当財団に寄附されます。

販売場所：Cotty Mitty オンラインショップ



オンラインショップで販売されている御米菓子。売上の一部が当財団に寄附されます。

販売場所：C'est du NANAN TOKYO オンラインショップ



プリザーブドローズを使ったオリジナルアレンジ。売上の一部が当財団に寄附されます。

販売場所：クリステル財団HP>チャリティーグッズ



個人として当財団を支援する

【買って応援！】当財団オリジナルグッズを購入する

ご自身へのご褒美、ご家族、恋人、友人へのプレゼントにもぜひ！
制作経費を除いた売上は、当財団の活動、運営のために大切に活用させていただきます。

財団オリジナルLINEスタンプ
とてもかわいい財団オリジナルスタンプ！



当財団の代表理事滝川が動物虐待のない世界を願って、初めて絵本の執筆にチャレンジしました。クラウドファンディングそして絵本制作にご協力いただいた「言葉を持たざる動物たちが置かれている現状を変えたい」皆様の思いが詰まった絵本です。

1,760円
(税込、送料別)



「Vie Ensemble」(共に生きる、一緒に命)が刻印されたネックレス。滝川が動物を思いデザインした一番最初のアクセサリーです。チェーンは長めで、モチーフにはドッグタグがデザインされています。チェーンが太めのメンズ用もご用意しております。

SV 18,700円 (税込)

ゴールドのネックレスに刻印されたメッセージ“Mercy”は、英語で慈愛。フランス語で一文字変えると“Merci”(ありがとう)に。二つの意味が込められています。

K18 39,600円 (税込)



とても使いやすく、かわいい財団オリジナルLINEスタンプ。売上はすべて当財団への寄附となります！Instagramで注目を集めているPantoviscoさんに制作していただきました。

150円 (税込)

LINEスタンプショップにて、クリエイターズから「**クリステル ヴィ**」でご検索ください！

「産経iD **クリステル**」で検索、もしくはクリステル財団HPトップページ中段の「チャリティグッズ」からお買い求めいただけます。

【寄附して応援！】個人として当財団に寄附する

ご支援者様のニーズに合わせて様々な方法でご寄附いただけます。皆様からの継続的な支援が大きな支えになっております！

プロジェクトサポーター ＜継続寄附会員＞

入会時に金額をご指定いただき、毎月同額を**クレジットカード引き落とし**にてご寄附いただけます。

当財団ホームページ「財団への支援」よりアクセスしてください。

スポットでのご支援 ＜単回寄附＞

単回で、**クレジットカード、もしくは銀行振込**にてご寄附いただけます。金額は、その都度任意の額をご指定いただけます。
当財団ホームページ「財団への支援」よりアクセスしてください。



YAHOO! ネット募金 JAPAN

Tポイント1円から承っております。使われていないTポイントのご活用、また毎月100円からの継続寄附も可能です！
当財団ホームページ「Yahoo!ネット募金」よりアクセスしてください。

Amazon pay、楽天Pay も使えます！



楽天ポイントが
使えます！

継続寄附、または単回寄附にてご支援いただく際に、アマゾンや楽天のアカウントに登録されているクレジットカード情報を使用できるようになりました。カード情報を改めて入力せず、決済を完了することができます！



企業として当財団を支援する

法人寄附、Webやソーシャルメディアでの共同キャンペーン、寄附付き商品の制作等、様々な支援方法で支援できます。
現在進行中のプロジェクトをご支援いただけるスポンサーも募集しております！！
当財団ホームページ「財団への支援」からお問い合わせ情報をご記入ください！

【スポンサー・ご支援の一例】

- ◇継続的なスポンサー：運営を支えるメインスポンサーとして、当財団HPでのロゴ掲載や、ブログ、SNSにて共同キャンペーンの情報発信も行います。
- ◇プロジェクトスポンサー：Project Zero、Project Red、Project SOSなど特定のプロジェクトをご支援いただくスポンサー。社内でのセミナーなども実施いたします。
- ◇啓発のご支援：自社のメディアや広告枠、店舗などをご活用いただき、当財団プロジェクトの啓発を共同で行っていただきます。

クリステル・ヴィ・アンサンブルのHP・SNSから、最新情報をチェック！

当財団では、積極的にHPやSNSで情報発信を行っております。お好きなQRコードにアクセスして、ぜひフォロー、リポスト、リツイートなどを通じて、最新情報のチェックやシェアをお願いいたします！！

公式フェイスブック	フォスターアカデミー	ウェルカム・ベット・キャンペーン
		

公式X (旧: ツイッター)



公式インスタグラム	Panel for Life
	

公式YouTubeチャンネル



財団HP



Christel
Vie Ensemble
Foundation

Yahoo!ネット募金



当財団ではご家庭やオフィスに眠っている書き損じハガキや未使用の切手などの物品によるご支援も受け付けております。

お送りいただいたハガキなどは切手と交換し、通信費として大切に使用させていただきます。

その他にも金券やギフト券、等も受け付けております。

物品によるご支援をいただける方は、お手数ではございますが、当財団までメール (info@christelfoundation.org) にてご連絡ください。

【お問い合わせ】 一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル



Christel
Vie Ensemble
Foundation

〒107-0051
東京都港区元赤坂1-4-21 4階B
電話/FAX : 03-6447-2463
メール : info@christelfoundation.org

クリステル財団

検索

